

令和 6 年 度

事業報告及び決算報告

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人 愛知県国際交流協会

目 次

事業報告	1
決算報告	1 3

事業報告

（公財）愛知県国際交流協会は、国際交流を通じて県民の国際的視野を広め、本県の国際的地位の向上に供するため、県、市町村、市町国際交流協会、民間国際交流団体及び関係機関と一体となって国際交流・国際協力活動や、外国人も地域社会で安心して暮らせる多文化共生の地域づくりの推進に努めた。

事業の実施にあたっては、国際交流団体交流室、研修室、アイリスルーム、図書コーナー、新聞・雑誌コーナーなどの施設を有する「あいち国際プラザ」を有効に活用し、県民参加型の国際交流の推進を図るとともに、あいち多文化共生センターにおいて多文化ソーシャルワーカーによる多言語での相談対応や情報提供を実施した。

1 国際交流・国際協力活動の推進

(1) 講座等の開催

ア 国際交流・国際協力普及啓発事業の実施

県民が国際的視野を広げ、地球規模の課題や異文化に対する理解を深めることにより、国際交流・国際協力活動への参加のきっかけとなる場を提供するための企画をワールド・コラボ・フェスタ2024の当協会自主企画事業として実施した。

開催日	内 容
令和6年 10月26日 ・27日	＜ブース出展＞ 「ペルーの魅力をご紹介・ペルーの文化を体験しよう！」をテーマに、展示やミニ講座、ミニゲームなどを通じて、ペルーについて楽しく学ぶ 協力：在名古屋ペルー共和国総領事館、Fujiki CAKE

(2) 国際交流イベントの開催

ア ワールド・コラボ・フェスタの開催

国際交流・国際協力・多文化共生・SDGsに関する県民意識の高揚を図るため、（独）国際協力機構中部センター及びなごや国際交流団体協議会と協働して、国際交流イベント「ワールド・コラボ・フェスタ2024」を開催した。

開催期間	内 容	出展・ 出演団 体	来場者数
令和6年 10月26日 ・27日	＜ワールドステージ＞ 地球規模の課題や多文化共生等をテーマにしたトークイベント、世界各国の歌や踊り等を披露 ＜コラボ広場＞ 国際交流・国際協力・多文化共生等に携わる団体の活動を展示やワークショップ等をとおして紹介	72 団体	約61,000名

※出展・出演団体にはワールド・コラボ・フェスタ主催団体及び主催企画（オープニングステージや特別企画など）を含まず。また、ブースとステージ重複はなし。

イ 愛知県国際交流協会設立40周年記念事業

設立40周年を記念し、式典及び記念展示を実施した。

・式典

開催日時：令和6年11月13日（水）午後1時30分～午後3時20分

開催場所：愛知芸術文化センター アートスペースA

内容：①国際交流推進功労者表彰 6団体

②感謝状贈呈 個人 9名

団体 14団体

③記念講演 「西川カーク氏からみた愛知の多文化共生」

講師：日本舞踊 西川流別格師範 西川カーク氏

出席者数：138人（受賞者・当協会評議員・役員、賛助会員、県内市町村及び市町国際交流協会職員等）

・記念展示

愛知県国際交流協会設立40周年記念パネル（A1・9枚）を作成し、展示。

開催場所	開催日
オアシス21 （ワールド・コラボ・フェスタ）	令和6年10月26日（土）、27日（日）
愛知芸術文化センター アートスペースA （40周年記念式典）	令和6年11月13日（水）
あいち国際プラザ 交流ひろば	令和6年11月25日（月）～12月25日（水）
愛知県図書館 1階ロビー	令和7年1月10日（金）～2月12日（水）

(3) 国際交流推進功労者の表彰（再掲）

国際交流や多文化共生の地域づくりの推進に顕著な功績のある団体を表彰した。

開催日	表彰の種類	被表彰者数
令和6年11月13日	会長表彰	6団体

(4) ボランティア登録制度の運営

県民参加による国際交流等を推進するため、ボランティアの募集・登録を行い、積極的活用を図った。

【ボランティア登録者数】

(令和7年3月31日現在)

ボランティアの区分	登録者数(延べ)
語学ボランティア (18言語)	203名
ホームステイボランティア	27名
サポートボランティア	80名
合計 (延べ)	310名

【ボランティアの活動】

区 分	内 容	活動者数(延べ)
語学(通訳)	マラソンEXP0愛知県ブースに訪れる外国人参加者との通訳 始め7件	13名
語学(翻訳)	一宮市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のリーフレット及び挟み込み文書の翻訳 始め2件	5名
サ ポ ー ト	あいち国際プラザ日本語教室 始め2件	1,579名

(5) ブラジル・アルゼンチン愛知県人会との連携・支援

海外移住先国のブラジル・アルゼンチン愛知県人会を通じて、移住者への相談対応を行うとともに、日本にいる移住者の家族に対して情報提供を行った。

(6) 国際貢献支援事業の実施

県内における国際協力を推進するため、国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害等の諸問題を抱えた地域を対象に、必要に応じて見舞金、緊急物資などの供与する事業を実施するものであるが、令和6年度は対象となる事業がなかったため、活動実績はなかった。

(7) 民間国際交流団体等の活動支援及び国際交流・国際協力活動の支援事業の実施

ア 市町村・市町国際交流協会及び民間国際交流団体等への支援

県内における幅広い国際交流の推進を図るため、国際交流団体等の行う国際交流に関する行催事に対し、共催、後援、補助金の交付など、積極的な支援を行うとともに、民間国際交流団体を支援するため、団体の行う各種行事の打合わせ、準備作業及び団体間の情報交換等の場として国際交流団体交流室を提供した。

【後援事業及び補助事業】

区分	内 容
後援事業	第14回 世界フェアトレード・デー・なごや ～世界フェアトレードの旅 みんなで世界地図を作ろう ♪～ 始め13件

区分	内 容
補助事業	第20回愛知県ティーボール大会 (アジア国際交流文化事業) 始め16件

イ 外国公館等との共催事業の実施

この地域で国際交流活動を行う団体や外国公館等と共催で、講座やパネル展等を開催することにより、地域の国際交流、国際理解の推進を図った。

【外国公館・民間国際交流団体等との共催】

共催団体	内 容
在名古屋ペルー共和国総領事館 始め2団体	「写真展 日本人ペルー移住125周年・独立 記念日・独立確定200周年を記念して」 始め2事業
愛知学長懇話会 (SDGs企画委員会) 始め6団体	「第18回愛知学長懇話会SDGsリレーシンポ ジウム 愛知SDGs大学生サミット2025～グロ ーバル社会のローカルSDGs」 始め7事業

ウ 国際交流・国際協力活動の支援事業の実施

県内市町村や市町国際交流協会、学校等と連携し、地域や時代のニーズに合わせた様々な国際交流・協力事業の実施を支援し、若者等が国際交流への関心を持つきっかけとするため、あいち国際プラザの施設内やウェブページなどで民間国際交流団体等の活動紹介をするとともに、インターンシップや施設見学などを積極的に受け入れ、地域の国際交流の現状などの情報を提供した。

2 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 講座等の開催

ア 県民の多文化共生社会づくりへの理解促進

県民を対象に、異なる文化に触れ、多文化共生について学び、多文化共生の地域づくり活動への参加につなげるための企画を、ワールド・コラボ・フェスタ2024の当協会自主企画事業として実施した。

開催日	内 容
令和6年 10月26日	＜ステージ出演＞ folkloreの陽気なリズムにのってペルーを楽しもう♪ ～ペルーの伝統的な音楽や踊りに触れよう～ ロス マラ ビジョス ロマンティコス デル フォルクローレ 協力: Los Marvillosos Romanticos del Folklore

イ 災害時のための体制づくり事業の実施

災害時に、外国人被災者を直接支援する県内市町村に対し、情報提供や通訳・翻

訳などの言語面での支援をするために愛知県が設置し、県と協会が共同で運営する「愛知県災害多言語支援センター」について、県と共同で訓練を実施したほか、BCPの見直しを行った。

また、「あいち多文化共生センター」が災害時に「愛知県災害多言語支援センター」と連携して外国人相談に対応できるよう、上記の共同訓練にあいち多文化共生センターとしても参加した。

そのほか、協会独自でも災害時に外国人県民向けの相談対応などを継続して行うため、言語面で支援を行うボランティアが協会内で円滑に活動を行えるようにする研修を行った。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和7年3月6日	災害支援と防災の基本、 私たちができること	エンジェルランプ 代表 椿佳代氏	21名

ウ やさしい日本語の普及

留学生支援、地域の活動支援、窓口対応の行政職員、多文化共生にかかわる活動をするボランティアなど、外国人と接する機会のある方々を対象に、外国人への情報提供手段としてのやさしい日本語の必要性を意識してもらうため、やさしい日本語に関する講座を、オンラインと対面で開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和6年 9月11日	第1回基礎編＜オンライン＞ やさしい日本語の基礎	一般財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー 崔英善氏	延べ 63名
令和6年 10月3日	第2回実践編＜対面＞ 日本語教室で使えるコミュニケーションツールとしてのやさしい日本語		

(2) 多文化ソーシャルワーカーによる相談・情報提供及び支援の充実

外国人が日本人と同じ制度やサービスを利用でき、本県で安心して暮らすことができるよう、多文化ソーシャルワーカーが日常生活に必要な情報を多言語で提供するとともに、複雑な問題を抱える相談者に対しては、関係する市町村の各種窓口や専門機関と連携しながら、問題解決に向けた自立支援までを継続的に行った。

なお、相談は、日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、韓国語、ミャンマー語、ロシア語、ウクライナ語の14言語で対応した。

また、専門的なアドバイスが必要な問題を抱える外国人を対象に、無料の弁護士相談（ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語／タガログ語、ベ

トナム語に対応)を実施するとともに、名古屋出入国在留管理局や愛知労働局、愛知県との連携により在留関係、労働関係、消費生活関係の専門相談(上記14言語で対応)を実施した。

【相談・情報提供等】

(単位:件)

相談言語	多文化ソーシャルワーカーによる 相談・情報提供及び支援					弁護士 相談	在留 相談	労働 相談	消費 生活 相談	合計
	情報 提供	継続 支援	傾聴	翻訳 通訳	小計					
日本語	1,916	1	4		1,921	9	3	0	0	1,933
ポルトガル語	430	3	0	26	459	29	2	2	1	493
スペイン語	204	0	0	12	216	6	3	1	0	226
英語	131	4	0	29	164	6	1	2	0	173
中国語	67	1	0	20	88	12	1	0	0	101
フィリピン語/タガログ語	73	2	0	8	83	14	1	0	1	99
ベトナム語	48	0	0	12	60	7	2	0	0	69
ネパール語	7	1	0	3	11		0	0	0	11
インドネシア語	18	0	0	3	21		1	0	0	22
タイ語	12	2	0	2	16		2	0	0	18
韓国語	7	0	0	4	11		0	0	0	11
ミャンマー語	1	0	0	0	1		1	0	0	2
ロシア語	2	1	0	0	3		0	0	0	3
ウクライナ語	0	1	0	0	1		0	0	0	1
合計	2,916	16	4	119	3,055	83	17	5	2	3,162

さらに、日頃から外国人に対する相談・情報提供及び支援活動に関わる相談担当者の資質向上を図るとともに、情報交換とネットワーク作りの場を提供し、県内各地域において有益な外国人向け相談業務が行われるようにするため、外国人相談窓口及び各種専門機関等の相談員向け研修会を開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和6年 11月1日	令和6年度外国人相談担当者研修会 災害研修～支援される側を知ろう!!～ 講義1:「能登半島地震に伴う在留資格の臨時相談会」実施報告 金田篤実氏(名古屋出入国在留管理局在留支援部門 首席審査官) 講義2:外国人対応から考える「誰ひとり取り残さない災害対応」 田村太郎氏(ダイバーシティ研究所代表理事)	36名

(3) 外国人相談担当者向け対応ハンドブックの作成

外国人が円滑に必要な制度・サービスを利用することができるようにするため、

当協会に寄せられた相談事例等をもとに、外国人に関する基礎知識や、外国人の子どもが公立小中学校に入学・編入学する時の手続き方法、外国人の子どもが抱えやすい問題、相談対応する際のポイント、各国の教育制度などをまとめた冊子「相談員のための多文化ハンドブック＝子どもの教育編＝」を2,400部作成し、県及び市区町村の国際交流担当課や児童福祉相談担当課、教育委員会、社会福祉協議会、市町国際交流協会等に配布した。

(4) 日本語学習の支援

ア 日本語教室の開催

日本語ボランティア入門講座修了生の実地研修の場として、日本語教室を開催し、外国人の日本語学習支援を行った。

開催期間	曜日及び時間	学習者数	ボランティア数
第1期 4～7月	火曜日13:30～15:00 金曜日13:30～15:00、19:00～20:30 土曜日10:30～12:00、14:00～15:30	110名	46名
第2期 9～12月		68名	44名
第3期 1～3月		67名	44名

イ 地域日本語教室に関する情報提供

(ア) 県内日本語教室活動調査

県内にある地域日本語教室の活動状況等を調査し、ウェブサイトに掲載した

(令和7年3月31日現在)

	日本語教室数		合計 (うち、一般と子ども両方を対象とする教室)
	一般向け	子ども向け	
対面式	136	108	244 (34)
オンライン	19	7	26 (3)

(イ) 日本語教育推進に関する有識者会議

地域の日本語教育の傾向やニーズや課題について、有識者等（アドバイザー）から実態・意見を聴き取り、現状の問題点の洗い出した上で、今後の当協会の事業展開等の参考とするための会議を開催した。

開催日	アドバイザー
令和6年 11月20日、 令和7年 2月18日	愛知県 多文化共生推進室 総括コーディネーター 村田竜樹氏 愛知県立大学 多文化共生研究所 客員共同研究員 米勢治子氏 愛知県立大学 地域日本語教育 講師 千葉月香氏 公益財団法人豊川市国際交流協会 林明子氏 NPO 法人トルシーダ 理事長 伊東浄江氏

ウ 日本語学習支援基金事業の実施

企業・個人からの寄付金及び愛知県からの出えん金により造成された「日本語学習支援基金」を活用し、外国人児童生徒の日本語学習を推進する事業を実施した。

① 外国人児童生徒向け日本語教室への支援

外国人児童生徒の日本語学習環境の充実を図るため、地域のNPOなどが実施する外国人児童生徒のための日本語教室に対し、教室運営に必要な経費の一部を助成した。また、日本語教室学習支援事業で助成認定を受けた日本語教室において、外国人児童生徒を対象とした、社会的自立に向けたキャリア支援事業及び日本語を使った地域交流活動の実施に掛かる経費の一部を助成した。

事業名	実績
日本語教室学習支援事業	認定：37 団体 58 教室 学習者数（月毎実数計）：7,534 名
キャリア・地域交流支援助成事業	対象：4 団体 助成事業数：25 件

② 外国人学校での日本語指導への支援

外国人学校の外国人児童生徒に質の高い日本語学習環境を提供するため、日本語指導者の雇用に必要な経費の一部及び外国人児童生徒の日本語学習に必要な日本語学習教材を整備するための費用の一部を助成した。

事業名	実績
日本語指導者雇用助成事業	日本語指導者雇用に係る助成：4 校
日本語学習教材給付事業	対象：4 校 給付教材数：166 冊

3 国際化の推進役となる人材の育成

(1) 講座等の開催

ア 国際交流・多文化共生コーディネーター講座の開催

市町村・市町国際交流協会等の職員を対象に、地域の国際交流、国際協力活動を推進し、多文化共生社会実現の担い手となる人材育成を目的として日常業務のスキルアップを図るための講座を開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和6年12月4日	アン先生の面白い 和製英語の世界	北九州市立大学 基盤教育センター 准教授 アン・クレシーニ氏	40名

イ ボランティア研修の実施

当協会及び市町村・市町国際交流協会のボランティア等を対象に、国際交流・多文化共生に関する知識や、ボランティア活動に役立つスキル等を学ぶ講座を開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和6年12月9日	ボランティアのための多様性理解 と支援のコツ ～持続可能な活動のために～	公益財団法人 箕面市国際交流協会 事務局次長兼総務課長 岩城あすか氏	25名

(2) 日本語学習の支援

ア 外国人県民生徒日本語教育推進事業の実施

(ア) 日本語指導員の育成

・日本語ボランティア入門講座

日本語ボランティア未経験者及び初心者向けに、外国人や外国人児童生徒の現状や課題、日本語ボランティアとはどのような活動なのか、またその支援内容や教え方などを学ぶ講座を開催するものであるが、共催を予定していた団体の事情により、開催しなかった。

・産官連携による地域日本語教室支援事業

愛知県経営者協会、(一社) 中部経済連合会、名古屋商工会議所、愛知県と協働で、地域の日本語教室にボランティアとして参加したいと思っている企業社員を対象に、子ども向け日本語教室で活動するための研修及び日本語教室とのマッチングイベントをオンラインで開催した。

開催日時	内 容	参加者数
令和6年8月31日	＜研修＞ 「愛知県に住む外国人児童生徒の現状及び子ども向け日本語教室の活動について」 講師：NPO法人トルシーダ 理事長 伊東浄江氏 ＜マッチング＞ 日本語教室活動紹介、個別相談会ほか	42名

・外国人児童生徒のための日本語教室活動等スキルアップ研修

現在子ども向け日本語ボランティアとして活動しているボランティア及び外国人児童生徒に携わっている学校関係者を対象に、日々の活動においての疑問点や悩みを解決し、役立つ知識やスキルを身に着けるためのスキルアップ研修を開催した。

共催団体	開催日	内 容	参加者数
江南市国際交流協会	令和6年 11月23日	日本語ゼロの子どもへの対応及び指導の方法 講師： 認定NPO法人プラス・エデュケート 理事長 森顕子氏	28名
西尾市国際交流協会	令和6年 12月1日	困り感がある外国につながる子どもたちへの関わり方 講師： NPO法人アジャスト 副代表理事 清長摩智子氏	24 名
北名古屋国際交流協会	令和7年 2月11日	プラエド式 子どもの発話を促すための教材と手法 講師： 認定NPO法人プラス・エデュケート 理事長 森顕子氏	20 名
長久手市国際交流協会	令和7年 3月16日		14 名

(イ) 外国人児童生徒及び保護者のための教育相談会等支援事業の実施

県内の市町村、学校、日本語教室、地域住民などが、進路選択から進学先の情報、そのための準備などについて、適切な情報提供を行う教育相談会を外国人児童生徒及び保護者を対象に実施できるよう支援するため、相談会開催の手引きを作成した。また、相談会を開催する際などに活用できるよう、日本の教育と進路についての資料を6言語（日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン／タガログ語、ベトナム語）で作成した。

イ 日本語ボランティア入門講座の開催

地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを新たに増やす取組として、日本語ボランティア初心者を対象に、心構えなどを学ぶ講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和6年8月24日～ 令和7年3月1日(全5回)	「日本語ボランティアの役割」等	延べ124名

ウ 日本語ボランティアスキルアップ講座の開催

地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを対象に、日本語教授法の更なる技術向上を目的とした講座を、開催した。

事業名	開催日	内 容	参加者数
日本語ボランティア スキルアップ講座	令和6年 11月19日 ～12月3日 (全3回)	対話でお互い学び合うコミュニケーション の日本語 講師：一般社団法人HORIZOPIC 代表 和田貴子氏	延べ 64名
初期日本語指導講座	令和7年 2月5日 ～26日 (全4回)	日本語が入門レベルの外国人の方ともできる、「対話型」の教室活動について学ぶ 講師等： 岐阜県日本語教育総括コーディネーター 安藤郁美氏 名古屋市日本語教育コーディネーター 酒井美賀氏	延べ 88名

4 国際化に関する調査研究・情報提供

(1) 国際交流協会活動推進会議の開催

国際交流の推進を図るため、県内市町国際交流協会と活動推進会議を開催し、情報交換等を行った。

開催日	会議等名称	内 容	出席者
令和6年5月13日	市町村・市町国際 交流協会連絡会議	「令和6年度の主要事業 について」等	県内各市町村・市町 国際交流協会職員
令和6年5月13日	第1回国際交流協会 活動推進会議	「各協会からの提出議 題について」等	県内各市町国際交流 協会職員
令和6年12月4日	第2回国際交流協会 活動推進会議	「令和6年度の各ブロッ ク会議の報告」等	県内各市町国際交流 協会職員

(2) 調査研究等の実施

『愛知県国際交流協会事業推進計画2028』のなかで課題として挙げた「災害時の対策及び支援」に対する施策として、関係団体等との連携体制づくり充実のため、県内市町国際交流協会等にヒアリングを行った。

ヒアリング先	訪問日	内 容
名古屋国際センター	令和6年 8月22日	非常時の体制、災害時ボランティア、 平常時の準備、課題等について
長久手市 長久手市国際交流協会	令和7年 1月17日	非常時の体制、防災周知イベント、 当協会への要望等について
豊田市国際交流協会	令和7年 1月23日	非常時の体制、豊田市との連携、 災害時のマニュアル見直し等について
豊橋市国際交流協会	令和7年 1月27日	非常時の体制、災害時通訳ボランティア、 防災イベント、当協会への要望等について

(3) インターネット等を活用した情報の提供

ホームページ（通称i-net）を作成し、国際交流に関する各種情報を日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、韓国語で、あいち多文化共生センターに関する情報を上記言語に加え、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語で提供した。

また、機関誌を作成し、協会の活動内容や国際交流関係情報等の広報を行った。

機関誌名	発行回数	発行時期	部数	配布先
あいち国際プラザ	4回	奇数月	各10,000部	協会賛助会員、民間国際交流 団体、市町村・協会など

そのほか、県内の民間国際交流団体の活動状況や、国際交流に関する基礎的情報を盛り込んだ「国際交流ハンドブック」を作成し、ホームページで公開した。

(4) 多言語による生活情報の提供

外国人の生活利便の向上を図るため、在留手続き、労働、医療・年金・福祉、教育、税金等、日本で生活する上で必要な情報を集めた冊子「愛知生活便利帳」（英語・中国語・日本語併記）を770部作成し、市町村相談窓口等の関係団体に配布した。

(5) 図書コーナーでの情報・資料の提供

国際交流に関する様々な図書・資料を収集し、図書コーナーにおいて貸出又は閲覧に供した。

特に、国際交流や多文化共生に関する図書、防災への理解を深める図書を充実させた。

区 分	図書コーナー	新聞・雑誌、 ビデオコーナー	貸出冊数
利用者数等	6,237名	3,191名	1,134冊

決 算 報 告

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	10,992,334	16,206,596	△5,214,262
未収金	65,898	83,916	△18,018
前払金	16,500	18,250	△1,750
流動資産合計	11,074,732	16,308,762	△5,234,030
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0
基本財産合計	314,595,000	314,595,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	42,530,853	37,339,960	5,190,893
国際貢献支援事業特定資産	1,534,066	1,533,379	687
日本語学習支援基金事業特定資産	38,472,170	52,852,415	△14,380,245
特定資産合計	82,537,089	91,725,754	△9,188,665
(3) その他の固定資産			
什器備品	1,834,119	1,813,602	20,517
ソフトウェア	72,380	115,808	△43,428
電話加入権	957,360	957,360	0
その他の固定資産合計	2,863,859	2,886,770	△22,911
固定資産合計	399,995,948	409,207,524	△9,211,576
資 産 合 計	411,070,680	425,516,286	△14,445,606
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	10,420,215	15,636,489	△5,216,274
預り金	578,517	590,273	△11,756
前受金	14,000	12,000	2,000
流動負債合計	11,012,732	16,238,762	△5,226,030
2 固定負債			
退職給付引当金	40,545,853	37,339,960	3,205,893
固定負債合計	40,545,853	37,339,960	3,205,893
負 債 合 計	51,558,585	53,578,722	△2,020,137
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	354,601,236	368,980,794	△14,379,558
指定正味財産合計	354,601,236	368,980,794	△14,379,558
(うち基本財産への充当額)	(314,595,000)	(314,595,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(40,006,236)	(54,385,794)	(△14,379,558)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	4,910,859	2,956,770	1,954,089
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,985,000)	(0)	(1,985,000)
正味財産合計	359,512,095	371,937,564	△12,425,469
負債及び正味財産合計	411,070,680	425,516,286	△14,445,606

貸借対照表内訳表

令和7年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科	目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
I	資産の部				
1	流動資産				
	現金預金	8,143,413	2,848,921		10,992,334
	未収金	65,898	0		65,898
	前払金	16,500	0		16,500
	流動資産合計	8,225,811	2,848,921		11,074,732
2	固定資産				
(1)	基本財産				
	投資有価証券等	314,595,000	0		314,595,000
	基本財産合計	314,595,000	0		314,595,000
(2)	特定資産				
	退職給付引当資産	0	42,530,853		42,530,853
	国際貢献支援事業特定資産	1,534,066	0		1,534,066
	日本語学習支援基金事業特定資産	38,472,170	0		38,472,170
	特定資産合計	40,006,236	42,530,853		82,537,089
(3)	その他の固定資産				
	什器備品	1,834,119	0		1,834,119
	ソフトウェア	72,380	0		72,380
	電話加入権	957,360	0		957,360
	その他の固定資産合計	2,863,859	0		2,863,859
	固定資産合計	357,465,095	42,530,853		399,995,948
	資 産 合 計	365,690,906	45,379,774		411,070,680
II	負債の部				
1	流動負債				
	未払金	8,137,874	2,282,341		10,420,215
	預り金	25,937	552,580		578,517
	前受金		14,000		14,000
	流動負債合計	8,163,811	2,848,921		11,012,732
2	固定負債				
	退職給付引当金	0	40,545,853		40,545,853
	固定負債合計	0	40,545,853		40,545,853
	負 債 合 計	8,163,811	43,394,774		51,558,585
III	正味財産の部				
1	指定正味財産				
	寄付金	354,601,236	0		354,601,236
	指定正味財産合計	354,601,236	0		354,601,236
	(うち基本財産への充当額)	(314,595,000)	(0)		(314,595,000)
	(うち特定資産への充当額)	(40,006,236)	(0)		(40,006,236)
2	一般正味財産				
		2,925,859	1,985,000		4,910,859
	(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)		(0)
	(うち特定資産への充当額)	(0)	(1,985,000)		(1,985,000)
	正味財産合計	357,527,095	1,985,000		359,512,095
	負債及び正味財産合計	365,690,906	45,379,774		411,070,680

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,668,009	2,097,315	570,694
基本財産受取利息	2,668,009	2,097,318	570,691
特定資産運用益	907	14	893
特定資産受取利息	907	14	893
受取会費	2,782,000	2,845,000	△ 63,000
受取会費	2,782,000	2,845,000	△ 63,000
事業収益	36,370	104,480	△ 68,110
広告料収入	30,000	30,000	0
生活便利帳収入	6,370	74,480	△ 68,110
受取補助金等	174,900,670	162,224,658	12,676,012
県補助金	174,900,670	162,224,658	12,676,012
受取寄付金	15,279,558	12,484,847	2,794,711
受取寄付金等振替額	15,279,558	12,484,847	2,794,711
雑収益	1,295,684	1,008,660	287,024
受取利息	10,053	647	9,406
雑収益	1,285,631	1,008,013	277,618
経常収益計	196,963,198	180,764,974	16,198,224
(2) 経常費用			
事業費	160,556,966	144,357,263	16,199,703
報酬	35,780,807	36,617,138	△ 836,331
給料手当	67,945,955	56,295,361	11,650,594
福利厚生費	16,708,941	15,358,561	1,350,380
旅費交通費	4,102,626	3,769,915	332,711
役務費	6,885,816	6,735,242	150,574
減価償却費	532,760	764,532	△ 231,772
消耗什器備品費	237,415	95,675	141,740
需用費	6,105,875	5,450,030	655,845
使用料及び賃借料	3,713,240	3,091,850	621,390
諸謝金	1,988,480	2,112,121	△ 123,641
租税公課	9,700	5,000	4,700
支払負担金	2,382,300	1,751,400	630,900
支払助成金	12,167,951	10,186,638	1,981,313
委託費	1,995,100	2,123,800	△ 128,700
雑費	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	34,320,692	36,762,828	△ 2,442,136
報酬	2,490,000	0	2,490,000
役員報酬	450,000	435,000	15,000
給料手当	16,661,050	18,995,707	△ 2,334,657
退職給付費用	3,205,893	5,339,585	△ 2,133,692
福利厚生費	3,604,048	3,666,445	△ 62,397
旅費交通費	179,460	53,060	126,400
役務費	13,475	71,500	△ 58,025
需用費	0	0	0
光熱水料費	7,640,309	8,116,929	△ 476,620
保険料	40,390	40,390	0
雑費	36,067	44,212	△ 8,145
経常費用計	194,877,658	181,120,091	13,757,567
評価損益等調整前当期経常増減額	2,085,540	△ 355,117	2,440,657
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,085,540	△ 355,117	2,440,657
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	131,451	0	131,451
経常外費用計	131,451	0	131,451
当期経常外増減額	△ 131,451	0	△ 131,451
当期一般正味財産増減額	1,954,089	△ 355,117	2,309,206
一般正味財産期首残高	2,956,770	3,311,887	△ 355,117
一般正味財産期末残高	4,910,859	2,956,770	1,954,089
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	900,000	4,920,000	△ 4,020,000
基本財産受取利息	2,668,009	2,097,315	570,694
特定資産受取利息	907	14	893
一般正味財産への振替額	△ 17,948,474	△ 14,582,176	△ 3,366,298
当期指定正味財産増減額	△ 14,379,558	△ 7,564,847	△ 6,814,711
指定正味財産期首残高	368,980,794	376,545,641	△ 7,564,847
指定正味財産期末残高	354,601,236	368,980,794	△ 14,379,558
III 正味財産期末残高	359,512,095	371,937,564	△ 12,425,469

正味財産増減計算書内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	2,668,009	2,668,009	0		2,668,009
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,668,009	2,668,009	0		2,668,009
特定資産運用益	907	0	0	0	0	907	0		907
特定資産受取利息	907	0	0	0	0	907	0		907
受取会費	0	0	0	0	1,391,000	1,391,000	1,391,000		2,782,000
受取会費	0	0	0	0	1,391,000	1,391,000	1,391,000		2,782,000
事業収益	0	0	0	36,370	0	36,370	0		36,370
広告料収入	0	0	0	30,000	0	30,000	0		30,000
生活便利帳収入	0	0	0	6,370	0	6,370	0		6,370
受取補助金等	25,046,066	61,873,312	16,762,974	31,339,888	7,865,585	142,887,825	32,012,845		174,900,670
県補助金	25,046,066	61,873,312	16,762,974	31,339,888	7,865,585	142,887,825	32,012,845		174,900,670
受取寄付金	△ 687	15,280,245	0	0	0	15,279,558	0		15,279,558
受取寄付金等振替額	△ 687	15,280,245	0	0	0	15,279,558	0		15,279,558
雑収益	359,680	19,157	0	0	0	378,837	916,847		1,295,684
受取利息	0	0	0	0	0	0	10,053		10,053
雑収益	359,680	19,157	0	0	0	378,837	906,794		1,285,631
経常収益計	25,405,966	77,172,714	16,762,974	31,376,258	11,924,594	162,642,506	34,320,692		196,963,198
(2) 経常費用									
事業費	27,363,938	77,180,714	16,762,974	32,632,856	6,616,484	160,556,966	0		160,556,966
報酬	24,933	25,945,346	3,282,535	5,519,955	1,008,038	35,780,807	0		35,780,807
給料手当	18,286,545	22,507,123	9,565,772	17,586,515	0	67,945,955	0		67,945,955
福利厚生費	3,943,670	7,168,188	1,894,389	3,702,694	0	16,708,941	0		16,708,941
旅費交通費	138,940	2,568,675	387,242	672,258	335,511	4,102,626	0		4,102,626
役務費	209,570	4,434,716	34,930	1,004,226	1,202,374	6,885,816	0		6,885,816
減価償却費	0	0	0	0	532,760	532,760	0		532,760
消耗什器備品費	0	98,800	0	138,615	0	237,415	0		237,415
需用費	655,000	2,043,223	513,686	1,437,305	1,456,661	6,105,875	0		6,105,875
使用料及び賃借料	200,000	282,692	9,420	2,571,288	649,840	3,713,240	0		3,713,240
諸謝金	162,280	527,200	1,075,000	0	224,000	1,988,480	0		1,988,480
租税公課	0	400	0	0	9,300	9,700	0		9,700
支払負担金	1,510,000	97,800	0	0	774,500	2,382,300	0		2,382,300
支払助成金	1,427,000	10,740,951	0	0	0	12,167,951	0		12,167,951
委託費	806,000	765,600	0	0	423,500	1,995,100	0		1,995,100

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
管理費							34,320,692		34,320,692
報酬							2,490,000		2,490,000
役員報酬							450,000		450,000
給料手当							16,661,050		16,661,050
退職給付費用							3,205,893		3,205,893
福利厚生費							3,604,048		3,604,048
旅費交通費							179,460		179,460
役務費							13,475		13,475
需用費							0		0
光熱水料費							7,640,309		7,640,309
保険料							40,390		40,390
雑費							36,067		36,067
経常費用計	27,363,938	77,180,714	16,762,974	32,632,856	6,616,484	160,556,966	34,320,692		194,877,658
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,957,972	△ 8,000	0	△ 1,256,598	5,308,110	2,085,540	0		2,085,540
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 1,957,972	△ 8,000	0	△ 1,256,598	5,308,110	2,085,540	0		2,085,540
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	94,600	0	0	36,851	131,451	0		131,451
経常外費用計	0	94,600	0	0	36,851	131,451	0		131,451
当期経常外増減額	0	△ 94,600	0	0	△ 36,851	△ 131,451	0		△ 131,451
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 1,957,972	△ 102,600	0	△ 1,256,598	5,271,259	1,954,089	0		1,954,089
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	2,956,770	-		2,956,770
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	4,910,859	-		4,910,859
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金	0	900,000	0	0	0	900,000	0		900,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,668,009	2,668,009	0		2,668,009
特定資産受取利息	907	0	0	0	0	907	0		907
一般正味財産への振替額	△ 220	△ 15,280,245	0	0	△ 2,668,009	△ 17,948,474	0		△ 17,948,474
当期指定正味財産増減額	687	△ 14,380,245	0	0	0	△ 14,379,558	0		△ 14,379,558
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	368,980,794	-		368,980,794
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	354,601,236	-		354,601,236
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	359,512,095	-		359,512,095

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

なお、取得価格と債券金額との差額について重要性が乏しい満期保有目的の債券については、適用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法について

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金には、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計基準について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	2,668,009	2,668,009	314,595,000
小 計	314,595,000	2,668,009	2,668,009	314,595,000
特定資産				
退職給付引当資産	37,339,960	5,190,893	0	42,530,853
国際貢献支援事業特定資産	1,533,379	907	220	1,534,066
日本語学習支援基金事業特定資産	52,852,415	900,000	15,280,245	38,472,170
小 計	91,725,754	6,091,800	15,280,465	82,537,089
合 計	406,320,754	8,759,809	17,948,474	397,132,089

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0	－
小 計	314,595,000	314,595,000	0	－
特定資産				
退職給付引当資産	42,530,853	－	1,985,000	40,545,853
国際貢献支援事業特定資産	1,534,066	1,534,066	0	－
日本語学習支援基金事業特定資産	38,472,170	38,472,170	0	－
小 計	82,537,089	40,006,236	1,985,000	40,545,853
合 計	397,132,089	354,601,236	1,985,000	40,545,853

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	20,429,864	18,595,745	1,834,119
ソフトウェア	217,140	144,760	72,380
合 計	20,647,004	18,740,505	1,906,499

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
政府保証債	99,568,000	85,240,000	△14,328,000
大阪市債	100,000,000	65,620,000	△34,380,000
利付国債	9,990,800	7,970,000	△2,020,800
堺市債	100,000,000	65,603,500	△34,396,500
利付国債	4,453,740	4,181,850	△271,890
合 計	314,012,540	228,615,350	△85,397,190

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和6年度愛知県国際交流協会運営費補助金	愛知県	0	174,900,670	174,900,670	0	－
合 計		0	174,900,670	174,900,670	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,668,009
特定資産受取利息の振替額	907
国際貢献支援事業の実施による振替額	-687
日本語学習支援基金事業の実施による振替額	15,280,245
合 計	17,948,474

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記で記載しているため省略。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	37,339,960	3,205,893	0	0	40,545,853

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金	0
預金	普通預金		
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	運転資金	10,992,334
未収金	県内市町国際交流協会	雇用保険料等	65,898
前払金	愛知県社会福祉協議会	ボランティア活動保険	16,500
流動資産合計			11,074,732
(固定資産)			
基本財産			
投資有価証券	政府保証債（大和証券）	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用。	99,568,000
	大阪市債（大和証券）		100,000,000
	利付国債（大和証券）		9,990,800
	利付国債（大和証券）		4,453,740
	堺市債（野村證券）		100,000,000
預金	定期預金		
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		582,460
特定資産			
退職給付引当資産	定期預金	職員の退職金の支払いに備えた積立資産。	37,339,960
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		
	普通預金		5,190,893
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		
国際貢献支援事業 特定資産	普通預金	公益目的保有財産であり、国際貢献支援事業に使用。	1,534,066
	三井住友信託銀行名古屋営業部		
日本語学習支援基金事業 特定資産	普通預金	公益目的保有財産であり、日本語学習支援基金事業に使用。	38,472,170
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		
その他の固定資産			
什器備品	スチールパーティション他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	1,834,119
ソフトウェア	Microsoft Office	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	72,380
電話加入権	電話加入権	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	957,360
固定資産合計			399,995,948
資産合計			411,070,680
(流動負債)			
未払金	事業実施等に対する未払額		10,420,215
預り金	住民税ほか	住民税等の預り金	578,517
前受金	賛助会費、日本語学習支援基金寄付	賛助会費の前受金等	14,000
流動負債合計			11,012,732
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備えたもの。	40,545,853
固定負債合計			40,545,853
負債合計			51,558,585
正味財産			359,512,095

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 2 9 日

公益財団法人愛知県国際交流協会

会長 神 田 真 秋 殿

公益財団法人愛知県国際交流協会

監事 中川 喜仁 印

監事 野村 一彦 印

私たち監事は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日までの令和 6 年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類及び会計帳簿又はこれに関する資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討するとともに、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上